臨床研究に関する情報公開

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針＞に基づき，研究の実施について下記のとおり情報を公開します。

研究結果は学会等で発表される事がありますが，その際も個人を特定する情報は公表しません。

★本研究の対象となられる患者さんで本研究にご賛同いただけない方や，研究計画，研究方法，または個人情報の取扱いなどについてお問い合わせがある場合は，下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★研究不参加を申し出られた場合も，不利益を受けることはありません。

＜研究課題名＞

婦人科腹腔鏡手術におけるエンドクイックスーチャーの効果判定

＜研究機関・研究責任者名＞

日本大学医学部附属板橋病院　産婦人科　(研究責任者)松浦眞彦

＜研究期間＞

承認日　～　西暦　2016　年　12　月　31　日

＜研究の目的と意義＞

今回当院で行われた、腹腔鏡下卵巣嚢腫摘出術において、卵巣嚢腫の縫合に、既に保険診療が認められているエンドクイックスーチャーという縫合糸を使用しました。この縫合糸は体内で吸収される糸で従来の糸と同様の効果を示しますが、最初に作ってある結び目により、縫合の手順が省けるため、手術時間が早くなることが報告されています。この手術の成績を研究のために用いることで、今後より効率の高い手術の運用が出来る可能性があります。

＜対象となる患者さん＞

西暦　2016 年　1 月 1　日～西暦　2016 年　3月　31日の期間に腹腔鏡下卵巣嚢腫摘出術の治療を施行された方

＜研究の方法＞

期間内で施行された腹腔鏡下卵巣嚢腫摘出術の手術時間や検体の大きさなどのデータを集計して、学会、論文発表を行います。データは匿名化されたものを使い、個人情報が保護された状態で発表されます。もし本人よりデータを使用しない申し出があるときは、いつでも取り下げることはできますので、連絡をしていただくようお願いいたします。

＜お問い合わせ窓口＞

日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1)
産婦人科　　氏名:松浦　眞彦
電話:03-3972-8111　内線:(医局)2522　(PHS)8251